

2023年度2級第30回試験対応 見立てと方策案 101パターン

試験5 ケース 20分の 関係構築・CC視点の問題把握・目標設定・方策をシステムティックアプローチのプロセスに沿って、10人の合格者たちの「私ならこう考える」例を101パターン

内容 受検票で示された5つのケースには、CL視点の問題だけでなく、CC視点の問題(自己理解不足・仕事理解不足・中長期のキャリア・ライフプラン不足、コミュニケーション不足)が隠されています。

受検者が相談者の問題が何かを見つけたとしても、相談者本人は気づいていないので、どうやって気づいていただくことが第一の関門です。

次に、相談者の問題把握ができたとしても、それに見合う目標設定と合意、解決するための具体的な方策が思いつかないと前に進めません。

多くの受検者から、せっかくロールプレイの練習をしてもCC視点の問題を見立てられない、方策は考えつかないという声を耳にします。

そこで、以下の例題(ケース4)のように、相談者にどんなことを話してもらうか(関係構築)、この相談者は何が問題かを専門職として見立てるポイント(CL視点の問題把握とCC視点の問題把握)、面談の目標設定と合意を得たものとして、具体的方策案をご用意しました。

受検票の文字情報だけの情報では、非言語や相談者はどこを深く悩んで相談に来ているか分からないので、さまざまなケースを予想して101パターンをご用意しました。通覧的にお目通しいただき、暗記するのではなく、面談の引き出しを増やす方策として視野を広げてください。

101パターンのパスワードをお送りします。6月23日より開始 会員価格：8,500円 一般(メマガ会員価格)10,000円

一部抜粋

担当	相談者が相談したいこと	関係構築のための質問	CC視点の問題把握	目標	方策
B	65歳の定年後は専業主婦として現在の仕事を続けられるかと思っていたが、先日、会社の専務から、現場から外れる仕事か退職するかのどちらかになると言われた。	定年間近ではあるが、まだ現役でいられると考えていたが、続けられない現実を受け入れられない状況への戸惑いと、それに伴う感情に寄り添い、共感的理解を示す。	○長期キャリアプラン不足 定年間近の年齢でありながら、今後の人生について考えていないのではないか。	目の前のことで動揺しているので、「まずは今後どんな人生を歩もうか一緒に考えてみませんか」	人生のパートナーである奥様と5年後10年後どうなっていたいかを、ライフ・ワークバランスやマネープランなど総合的なキャリアを考える。
D	65歳の定年後は専業主婦として現在の仕事を続けられるかと思っていたが、先日、会社の専務から、現場から外れる仕事か退職するかのどちらかになると言われた。	定年という転機を迎えることへの思いや現場から外れる仕事か、退職の選択を迫られている切実な状況への思いを傾聴する。	○自己理解不足 転機への対処、キャリアプランを策定する必要性の認識の程度は十分か。	「高歯頷期における働き方について一緒にいろいろ検討するのはいかがでしょうか」	高歯頷期の働き方、転職する場合に考慮すべき生活面や体調面に関すること、仕事内容や勤務体系(例えば、副業、兼業、委託契約ボランティア等を含め)の希望を検討する。
F	65歳の定年後は専業主婦として現在の仕事を続けられるかと思っていたが、先日、会社の専務から、現場から外れる仕事か退職するかのどちらかになると言われた。	現在の仕事が続けられないことに対する気持ちを伺い、受容・共感をする。	○仕事理解不足 現場からはずれ、どんな仕事になるか認識しているのか確認し、現在の仕事理解の程度について気づいていただく。	「現場を外れたときの 仕事 の 具体的な内容 を調べ、自己のリソースを活かせるかどうかを確認し、これからの働き方について考えてみませんか」	これまでの経験やスキルを棚卸しし、どんなときに自己効力感が高まったか、自分のスキル(ポータブルスキル、ヒューマンスキル等)は何かについて客観的に整理する。